

北里大学理学部同窓会報

2015年 第18号



平成26年度 定期総会集合写真

● CONTENTS ●

会長挨拶……………	P 2	就職ガイダンス……………	P 8
学部長挨拶……………	P 3	同期会報告……………	P 8
新任の学科長と就職指導委員長紹介……………	P 4	集会援助手続……………	P 10
講座名改称のお知らせ……………	P 4	活躍する同窓生……………	P 11
理学部への寄贈品について……………	P 4	北里大学名誉教授 宮本健先生 追悼文……………	P 12
平成26年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 5	理学部事務室より……………	P 13
卒業研究功労賞……………	P 7	平成28年度 理学部入学試験日程 (予定)……………	P 14
理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催……………	P 7	就職センター、同窓会からのお願い……………	P 15



「さらなる理学部同窓会の発展のために」

理学部同窓会会長 沼上 清彦

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、北里大学の創立50周年並びに旧北里研究所の創立100周年の節目を記念するイベント“Kitasato100×50”が展開していますが、この一環として平成24年の大学創立50周年にして制作された校歌「生命の北辰（いのちのほくしん）」は、黛まどかさん（作詞）と千住明さん（作曲・編曲）の手によるもので、非常に格調高い仕上がりに卒業生として誇らしささえ感じています。

また、平成25年11月に開催された“Kitasato100×50”の記念式典や祝賀会は、改めて学祖北里柴三郎先生に想いを馳せ、母校の発展に関係者一人ひとりがどう寄与すべきかを考える素晴らしい機会になりました。さらに、平成26年5月には北里大学新病院が開院しましたが、このイベントもそろそろ終盤を迎えています。

皆さまには、これに関連して大学法人から寄附の要請が再送されたことと存じますが、理学部卒業生は人数が少ないことも一因となり、学部別卒業生寄附金の現況では思ったような成果が出ておりません。寄付は一口1万円を単位としたものに変更されておりますので、卒業生としてできる範囲でのご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、理学部同窓会は、平成26年4月の時点で6,955人の会員を有しています。そのうち衛生学部卒業生が3,557人、理学部卒業生が3,398人です。先の会報で、今期は魅力ある同窓会づくりというテーマに取り組んでいるものの、衛生学部と理学部という2つの出身学部を有する本会にとって、世代の違いを越えた魅力ある同窓会の礎を構築する

ことは、きわめて難しい問題であると申しあげましたが、平成27年4月をもっていよいよ理学部卒業生が本会の多数になるわけです。

不肖私が振り返れば9年という長きに渡り、会長職を務めさせていただいておりますが、できるだけ早い時期に会長を交代し、合わせて役員の世界交代を図ることにより、魅力ある新しい理学部同窓会づくりの環境を整えたいと思案しているところです。ついては、特に理学部卒業生で同窓会活動に興味をお持ちの方には、本会の運営に是非ともご参画いただきたく、事務局までお申し出いただければ幸いです。

話しは変わりますが、北里大学同窓会は、北里大学もしくは同窓会を地域住民にご理解いただくことを目的に毎年講演会を開催しています。相模原地区は、理学部、医療衛生、医学、看護の4学部同窓会の持ち回りで運営を担当しており、次年度の北里大学同窓会講演会は本会の担当です。現在、当該事業担当の千葉貴子副会長や蓮沼良一理事を中心に、理学部同窓会らしいテーマと演題で開催できるよう、企画の立案を進めているところです。仔細が決まり次第HPで開示させていただきますので、皆さまにもご来場いただければ幸いです。

最後になりますが、同窓会は会員の親睦と母校の発展に寄与することを旨とする親睦・支援団体であり、理学部同窓会はそのような観点から、会員のため、後進のため、そして理学部のために活動しておりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



学部長挨拶 最近の北里大学理学部

理学部長 真崎 康博

春暖の候、理学部同窓会会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から理学部の教育・研究活動に対し、多大なご支援とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、今年度（平成26年度）は、1961年に理学部の前身である衛生学部が北里大学発足と同時に設立されてから52年目に、そして1994年に衛生学部が改組されて理学部が発足して20年目にあたります。これまでに、衛生学部卒業生3,736名（化学、生物科学）、理学部卒業生3,398名（物理、化学、生物科学）、併せて7,134名の卒業生が社会へ飛び立たれ、活躍されております。この3月には、東日本大震災の影響で入学式が中止となった年に入学された、195名の卒業生を送り出すこととなりました。現代の日本人がこれまでに経験したことが無い大災害に見舞われた後、混乱した社会状況の中で肅々と勉学に励み、見事に卒業されたことに敬意を表するとともに、今後のご活躍を大いに期待するところであります。

一方、学部創設以来、学部及び大学院の教育と研究にご尽力されてこられた、十河清物理学科教授が3月に定年退職されます。十河先生は、平成6年に理学部に赴任されて以来、物理学科非線形物理学講座にて教育と研究に邁進され、平成21年に同講座教授に就任された後には、物理学科長を初めとして、数々の学部の要職を歴任され、学部の運営に大きく貢献されました。また、化学科分子構築学講座助教の堀 顕子先生が、4月から芝浦工業大学准教授としてご栄転されることになりました。堀先生は、金属錯体の結晶化学をご専門とし、科学技術振興機構（JST）の“さきがけ研究”に採択されるなど、精力的に教育と研究に尽力されてこられました。他方、昨年9月には生物科学科幹細胞学講座に准教授として関田洋一先生が赴任されました。バリバリの若手として今後の健闘が期待されております。理学部を去られる

先生方には、これまでの理学部に対するご貢献に感謝申し上げますと共に、今後のさらなるご発展を祈念する次第であります。

ところで、我が国では「人口減少」が近年各所で頻繁に取りざたされるようになってきていることは、皆様ご存知のとおりであります。大学にとっては、受験層である18～19歳の人口がどのくらいかが大きな関心となっております。高校生の進学率が現状の50%程度のまま推移すると仮定すれば、2018年度を境にこの世代が減少に転ずるため、結果として大学進学希望者がどんどん減少していくことは確実となっております。理学部では、このような状況を見据え、8年程前から入試広報活動をより活発化させてきました。その節には、同窓会の皆様方、PPA会員の皆様方、さらには衛生学部、理学部卒業生のうちで、中学校、高等学校の教職におられる方々など多数の方々にご協力をいただきました。この場をお借りしてご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に、震災という大災害から4年が経過し、被災地各所ともそれぞれ問題は抱えているものの落ち着きを取り戻した感があります。しかし、我が国が抱える他の問題、例えば前述の少子化や高齢化社会の到来、経済変動の顕著化・・・どれをとっても容易には解決できない問題が数多く存在します。このような中で、たくましく生きていくためには、論理的に考え行動する能力がより一層求められるものと思われまます。理学部は、講義、実習、演習等を通じてこのような人材の育成に邁進していく所存であります。同窓会の皆様には、これまでと同様にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様の今後のご健勝を祈念して筆を置かせていただきます。

新任の学科長と就職指導委員長紹介



物理学科長
菅原 洋子 教授



化学科長
丑田 公規 教授



生物科学科長
高松 信彦 教授



就職指導委員長
弓削 秀隆 教授

講座名改称のお知らせ

2014年4月より下記5講座の名称が改称されました。

物理学科

生体分子動力学講座 → 生物物理学講座

生物科学科

生物情報科学講座 → 分子生物学講座

分子発生学講座 → 幹細胞学講座

生体機能学講座 → 細胞生物学講座

生体防御学講座 → 免疫学講座

理学部への寄贈品について

本会から理学部へ、図書館に図書26冊、S号館1階自習室にワークテーブル8台、椅子23台、デスクトップパネル8枚を寄贈しました。



平成26年度理学部同窓会定期総会報告

平成26年度理学部同窓会定期総会が5月18日(日)、午前9時から白金キャンパス 薬学部1号館6階1604会議室に於いて開催されました。

質疑応答後、平成25年度の事業、決算および監査報告が全会一致で承認された。

平成25年度収支決算書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

出席者：46名(第1号議案の2名、第2号議案の1名を含む)；長原勝彦(HC1)、坂口洋、櫻井典子(HC2)、竹澤美男(HC4)、沼上清彦、小沼和久(HC6)、麻生綱男(HC8)、石川一郎(HC9)、蓮沼良一、國香清(HC11)、島崎道弘、藤本玲子、氏家重夫(HC12)、内田宏、森孝之(HC14)、須貝昭彦(HC18)、八井田文子(HC19)、甲斐恒人(HC20)、木村武俊(HB1)、千葉貴子(HC28)、渡辺知広(HC30)、秋本護、前川敏郎(HB4)、村上裕章(HC31)、細江裕子(HB5)、石原稔(HB32)、井村幸介(HB6)、中野章代(SC3)、田村啓(SB4)、三浦慎一郎(SB5)、大滝正訓(SP7)、千ヶ崎裕介(SC7)、松本俊英(SP8)、田草川英昇(SP9)、荒木恒平(SC9)、齋藤昂良、菅谷大地(SB10)、小林宣文(SP11)、曾根靖人(SC11)、石毛達也(SB12)、高壽美文(SP13)、厚木将志(SC13)、上村和豊(SB13)、杉本愛(SP15)、逸見拓谷(SC17)、小田本実佳(SB17)

委任状提出者：41名(第1号議案迄の1名を含む)；小池惇平(HC1)、西尾公男(HC3)、山岡輝昭(HC4)、中野勝雄(HC5)、石原裕三(HC7)、石水相夫(HC10)、衣川佳美(HC13)、根岸恵一(HC14)、星名達行(HC15)、伏見尚登(HC16)、立松佐吉(HC18)、小泉博之(HC22)、山下宣行(HC23)、椎名文乃(HC24)、小笠原正勝(HC25)、竹尾文彦、櫛部一彦(HC26)、長谷部浩司(HC27)、伊藤昌史(HB1)、佐藤康之(HC28)、坂内健志(HB2)、吉田奈美(HC29)、嶋宮民安(HB3)、福山勝也(HC31)、酒井利奈、桑原美保子(SP1)、吉瀬晴子(SB1)、平山幸司(SP2)、江島史緒(SB2)、矢野太一(SC3)、福島唯実、藤井祐介(SC4)、吉本真紀子(SB4)、國廣喜央司(SP6)、東海林周平(SC6)、佐々木木明(SB6)、森口友敬(SB8)、富澤良弘(SC10)、新井慧(SB15)、南川晴紀(SP16)、長谷川祐紀(SP17)

欠席者：26名；山田淳(HC17)、飯島宏(HC20)、鈴木芳弘(HC21)、北村光宏(HC23)、矢口晶(4HB)、中條総子(SC1)、河合匡(SC2)、山本あゆみ(SP3)、小林琢也(SB3)、小林麻衣(SP4)、大西新(SP5)、田辺由美子(SC5)、武者孔佑(SP7)、吉野成嗣(SB7)、鈴木健太郎(SC8)、岡田絵真(SB9)、今村敦(SP10)、石村早紀(SB11)、奥田悠介(SP12)、上村勇介(SC12)、保住厚兵(SP14)、神田章宏(SC14)、新山勇人(SB14)、田中雅史(SC15)、川崎貴之(SC16)、藤川圭太(SB16)

<第3号議案終了後、総会構成員数は113名>

1. 開会の挨拶

司会の蓮沼理事(HC11)から、規約第15条第2項に規定する総会構成員数109名に対して1/3以上が出席し、所定の定足数に達した旨を述べ、定期総会の成立することが報告され、開会を宣言した。

2. 議長団の選出

議長に坂口代議員(HC2)、副議長に秋本理事(HB4)、議事録署名人に内田理事(HC14)、上村代議員(SB13)、書記に島崎理事(HC12)、前川理事(HB4)が全会一致で承認された。

3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長(HC6)から、日頃の同窓会活動への理解と協力に対する感謝の言葉が述べられた。また総会構成員のあり方についての見直しも検討課題として考えている旨が伝えられた。

4. 報告および決議事項

★報告事項

- 平成25年度事業報告、収支決算報告の件および監査報告の件
千葉事業担当副会長(HC28)から平成25年度事業報告、須貝財務担当副会長(HC18)から平成25年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告後、村上監事(HC31)から、平成25年度の監査結果が正確かつ妥当との報告があった。

収入の部 (単位：円)

費目	①予算	②決算	増減(②-①)
学部還元金	4,979,000	4,979,000	0
年会費	390,000	420,000	30,000
会報送料補助	338,000	338,000	0
利子	4,000	2,963	△1,037
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	25,400	25,400
積立金戻入	400,000	0	△400,000
前年度繰越金	1,116,459	1,116,459	0
合計	7,227,459	6,881,822	△345,637

支出の部 (単位：円)

費目	①予算	②決算	増減(②-①)			
運営費	会議費	総会費	847,223	1,143,965	△306,035	
		理事会費	261,607			
		委員会費	35,135			
	事務局費	事務人件費	1,201,997	1,299,598	△330,402	
			通信費			16,930
			物件費			55,737
雑費			24,934			
渉外費	慶弔費	300,000	95,240	△204,760		
		交際費			66,890	
事業費	集会援助費	200,000	107,600	△92,400		
	会報発行	1,300,000	1,142,547	△157,453		
	就職ガイダンス	400,000	512,465	112,465		
	教職員との懇談会	250,000	157,984	△92,016		
	図書費	図書費	99,569	99,569	△431	
			0			
	講演会協力費	100,000	19,480	△80,520		
	卒業研究功労賞	240,000	240,000	0		
	カミングホーム	650,000	800,960	150,960		
	準会員支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	132,180	△17,820	
	ホームページ	プロバイダー費	40,000	39,060	△940	
	積立金	0	0	0		
	次年度用事業資金	250,000	250,000	0		
予備費	167,459	0	△167,459			
合計	7,227,459	6,040,648	△1,186,811			
次年度繰越金			841,174			

貸借対照表 平成26年3月31日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	11,935	前期積立金	12,670,638
郵便貯金	565,065	次年度繰越金	841,174
普通預金	5,978,391	次年度事業資金	250,000
事務局用普通預金	107,958		
定期預金	7,098,463		
合計	13,761,812	合計	13,761,812

★決議事項

第1号議案 新代議員選任(3名)の件

沼上会長から、長谷川裕紀氏(SP17)、逸見拓谷氏(SC17)および小田本実佳氏(SB17)の新代議員の提案があり、選任された。

第2号議案 代議員交替の件

沼上会長から、菅谷大地氏(SB10)への交替代議員の提案があり、選任された。

第3号議案 役員選任の件

沼上会長から、齋藤昂良氏(SB10)の選任提案があり、選任された。

第4号議案 平成26年度事業計画案および第5号議案 平成26年度予算案の件

千葉副会長から平成26年度事業計画案、引き続き須貝副会長から事業計画案に基づいた平成26年度予算案の説明がそれぞれ

行なわれた。

質疑応答後、全会一致で平成26年度事業計画案および収支予算案が承認された。

平成26年度事業計画

- 1 会報の発行
同窓会報第18号（通算44号）を平成27年1月に発行する。
- 2 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を平成26年7月19日（土）に開催する。
- 3 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一主旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの更新
新しい情報を会員へ提供するため、ホームページをリアルタイムに更新する。
- 5 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第20回就職ガイダンスの開催（理学部との共催）
平成26年10月25日（土）に理学部3年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7 北里大学同窓会講演会の開催
北里大学同窓会講演会（看護学部同窓会担当）に協力する。
- 8 学部への寄贈
寄贈物品：50万円相当の物品を寄贈する。
寄贈図書：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第9回「卒業研究功労賞」の表彰
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11 その他

平成26年度収支予算

平成26年4月1日 至平成27年3月31日

収入の部

(単位：円)

費目	①平成26年度	②平成25年度	増減(①-②)
学部還元金	5,234,000	4,979,000	255,000
年会費	390,000	390,000	0
会報送料補助	362,000	338,000	24,000
利子	4,000	4,000	0
前年度事業資金	250,000	0	250,000
雑収入	0	0	0
積立金戻入	0	400,000	△400,000
前年度繰越金	841,174	1,116,459	△275,285
合計	7,081,174	7,227,459	△146,285

支出の部

(単位：円)

費目		①平成26年度	②平成25年度	増減(①-②)
運営費	会議費	650,000	1,250,000	1,450,000
	総会費	400,000		
	理事会費	200,000		
	委員会費	1,350,000		
	事務局費	50,000	1,730,000	1,630,000
	通信用費	300,000		
渉外費	雑費	30,000		
	慶弔費	200,000	300,000	300,000
	交際費	100,000		
	集会援助費		200,000	200,000
事業費	会報発行		1,350,000	1,300,000
	就職ガイダンス		550,000	400,000
	教職員との懇談会		250,000	250,000
	懇談会費		250,000	250,000
	学部への寄贈品	100,000	600,000	100,000
	図書	500,000		500,000
	講演会費		100,000	100,000
	担当手当		240,000	240,000
	卒業研究功労賞		100,000	40,000
	ホームページ		0	60,000
カミングホーム		0	650,000	
△650,000				
準会員支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	150,000	0
積立金		0	0	0
次年度用事業資金		0	250,000	△250,000
予備費		261,174	167,459	93,715
合計		7,081,174	7,227,459	△146,285

5. 議長団の解任および閉会の辞

連沼理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

※総会は昨年以上の質疑応答が活発に行われ、予定した時間を30分以上過ぎて終了しました。その後本館外階段にて撮影後、学生食堂で食事会を開催。しかし、食事会が短くなったことで各代議員間および役員との交流を行うことが出来なかったとの反省点が第2回理事会で報告されました。その点を踏まえて白金での定期総会開催時間を毎年早めて居ますが、今後の課題です。今回の総会は、委任状提出者を含めた出席者数が昨年より10%も向上し、総会構成員総数の83%に達しました。

寄贈図書に関して、後日図書館で尋ねた結果を報告します。

- 1) 図書選定については、責任者が退職され、どのようにするか検討中である。
- 2) 卒業生からの寄贈図書については、中央図書館構想があり、在庫を減らす方向のため難しいとお話しでした（総務担当）。

※平成27年度定期総会開催予告

平成27年度定期総会開催予定についてお知らせします。

平成27年度定期総会開催場所は白金キャンパスですが、平成26年7月に真崎学部長が重任され、各学科長および就職指導委員長が新任されました（「理学部教職員と同窓会役員の懇談会」の記事中に記載）。この点を考慮し、開催場所と時期を以下のように変更したことをお知らせします。

場 所：相模原キャンパスS号館（理学部校舎）

日 時：平成27年5月16日（土）、午後1時開催予定

平成27年度年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動のために平成27年度年会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円； 納入方法：郵便振替

口座番号：00260-9-60155

加入者名：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

卒業研究功労賞

平成26年度3月26日(水)、東京ディズニーリゾート ホテルミラコスタにおいて北里大学理学部卒業パーティーが開催され、本学会より第7回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

『卒業研究で得たこと』

18SC 逸見 拓谷

北里大学を卒業して早1年が経とうとしています。時の流れの早さを楽しみ感じています。

私は3年生までは、なんとなく授業に出てテスト期間になると、テスト勉強をして単位を取るという何の目的も持たないまま、学校から与えられたことをこなすだけのために大学に通っていたと感じています。しかし4年生の卒業研究は自分で計画をたてて実験していき、考察していくということで自分の興味があった分子構造のアミノ酸の構造解析について研究してきたいと思い、笠原先生の元で卒業研究を行いました。3年生までの講義とは違い、朝から1日中自分の卒業研究にあてられるので最初はどのように計画をたて、実験していけば分からず、先生にアドバイスをもらいながら実験をしていく毎日でしたが、慣れていくとこんなことが知りたい！そのためにはこの実験や論文を探してみよう！など自分から興味をわいて調べて、先生にも提案できるようになり

ても充実した毎日を送ることができました。自分で考え、計画をたて実行する力が卒業研究で得ることができとても感謝しています。

現在は化学メーカーの技術職として働いていて、4年間勉強した化学の知識や卒業研究で得た自分から行動しあきらめない力は仕事でも活かされています。

最後にこれまで支え続けてくれた両親、先生、先輩、同期の仲間たちにこの場を借りて感謝いたします。



理学部教職員と同窓会役員との懇談会開催

「平成26年度理学部教職員と同窓会役員との懇談会」が7月19日(土)に開催されました。理学部から、真崎学部長(重任、分子機能化学講座教授)、菅原物理学科長(新任、物性物理学講座教授)、丑田化学科長(新任、反応機構学講座教授)、高松生物科学科長(新任、分子生物学講座)、弓削就職指導委員長(新任、分子構築学講座教授)が、事務室からは、苫米地事務長、田中課長補佐、花田係長、島崎および椎本事務員が出席され、同窓会からは、沼上会長を含めた役員12名が出席しました。

当日は北里大学進学相談会の「第1回オープンキャンパス」が相模原キャンパスに於いて開催され、理学部の教職員には忙しい中を出席いただいた次第です。

沼上会長の開会挨拶後、真崎学部長から学部近況報告を、菅原、丑田、高松各学科長から各学科の状況などを、弓削就職指導委員長からは就職状況に関してそれぞれ説明をいただきました。更に苫米地事務長から着任の挨拶がありました。

丑田先生からは、昨年定期総会で要望のあった理学部のホームページを4月1日にリニューアルした点も説明が行われました。

同窓会からは、沼上会長が今期の抱負、千葉事業担当副会長から「平成26年度事業計画」の概略説明、また10月25日(土)開催の学部との共催である「就職ガイダンス」について、甲斐就職ガイダンス担当理事から進捗状況の報告と島崎事務員から就職ガイダンス実施要領案についての説明がありました。

この後、種々のテーマについて懇談が弾み、今年の懇談会も終始和やかで活発な意見交換が行われたことを報告します。



就職ガイダンス

平成26年10月25日（土）、L1号館31講義室において、理学部3年生と修士課程1年生を対象とした第20回就職ガイダンスが開催され、講演と集団模擬面接が行われました。今回初めての試みとして、この就職ガイダンスで模擬面接を経験された五月女氏に主講演をお願いしました。

主講演：「履歴書・自己紹介書(エントリーシート)の解説」
五月女佳蓉氏 (SC16)

模擬面接・講評：
シミック・アッシュフィールド株式会社
人財開発本部マネージャー 藤田嘉一氏 (17HC)
HRBC株式会社 代表取締役 松下純也氏

『模擬面接に参加して得たこと』

板村 旭朗



私は今回の就職ガイダンスで、模擬面接に参加しました。来年から就職活動のスケジュールが大幅に遅くなるため、準備を始める時期について悩んでいました。その中で、早い時期にこのような機会を与えていただき誰よりも早いスタートダッシュ

を切れたことを大変感謝しています。さらに、100人以上の学生の前で実施されたことは緊張しましたが大変良い経験になったと感じています。

私にとって初めての面接で、過去のガイダンスや同期、後輩のアドバイスを参考に準備をしましたが、面接官をして下さった松下様と藤田様から、次々と飛んでくる質問に対して的確に回答をすることが難しかったです。面接後の講評では、最初の質問で心をつかむことの

重要さや多くの面接のコツ、採用したい人材について教えていただきました。多くが企業の方ならではのアドバイスで、大変参考になることばかりでした。また終了後、個人的に自分の足りない点と克服するためのアドバイスをいただきましたので、それらを活かして来年度の就職活動に挑みたいと思います。

今回の就職ガイダンスでは、多くの学ぶべき点が見つかり大変貴重な経験になりました。面接を企画していただいた皆様方にお礼申し上げます。



同期会報告

今年は卒業45周年 衛生学部化学科5期生

5HC 中野 勝雄

北は北海道・札幌、南は九州・熊本まで全国で活躍中の衛生学部化学科5期生の皆さんお元気ですか。今年は卒業45周年に成ります。今秋に予定しています同期会にたくさんの参加をお待ちしております。幹事一同、心から願っております。

「相模原キャンパス訪問・奥飛騨旅行記」

年度末で忙しい過日、相模原キャンパスに10数名で同期生の理学部化学科反応機構学講座芝本伸二先生及び化学科共通河田和雄先生が定年退職を迎えるので訪問した。芝本先生の案内で研究室及び実習室を見学し、40数

年前の白金校舎で学んだ時を思い浮かべながら学習・研究器材の進歩に驚愕した。見学終了後、丹沢山脈が眺望出来る大学病院内のレストランで芝本・河田両先生を囲んで懇談した。その時に奥飛騨旅行の計画が持ち上がり都合出来る方で1泊2日の旅をする事になった。



5月の連休後、卒研ゼミの異なる学友で新宿から“スーパーあずさ”で松本に行き、片石君の運転で北アルプス・上高地手前から中部山岳道路の安房トンネルを抜け、岐阜県在住の小水君と共に旧神岡町地域の活性化にと廃線になった旧神岡鉄道の線路に並列した自転車2台を鉄輪に載せたレールマウンテンバイクで、桜吹く緑豊かな景色を見ながら起伏ある線路を約6km往復した。また、ニュートリノの観測でノーベル物理学賞を受賞した小柴

先生が開発を依頼した浜松ホトニクス製の20インチ光子増倍管が展示してある施設(スカイドーム)を見学した。

今夜の宿である奥飛騨温泉郷の平湯温泉に小水君も泊まり白金の青春に戻った。翌日、西穂高連峰の麓から新穂高ロープウェイで展望台に上がり北アルプスを一望した。山岳ガイドの話では、富山方面まで望めるのは珍しい事と話していた。帰路、飛騨高山の街並みを見て帰路に着いた。

衛生学部化学科6期生 同期会をベルマーレで開催

HC6 坂口 和子

去る11月8日に衛生学部化学科6期生の同期会を渋谷のベルマーレで開催しました。例年、同期会は例年白金本館の松実を利用していましたが、いよいよ白金キャンパスの再開発がはじまったため、会場を平成26年2月28日発行の理学部同窓会報第17号の広告にありました、化学科2期生、木津秀幸オーナーのベルマーレに移して開催しました。ここは渋谷駅からすぐの桜通りにあるトラットリアです。

今回は鹿児島や愛媛、京都、山形など遠方からの参加があり、久々の再会に話が弾み、時を忘れて和気藹々と実に楽しく過ごしました。もちろん、この年齢の会にはつきものの、孫や病



気の話が豊富だったことは言うまでもありません。

この同期会は、2020年の東京オリンピックまで毎年開催することになっておりますので、毎年同期の元気な顔を拝見できますことが嬉しいです、楽しみでもあります。ご都合で参加できなかったHC6の同期の皆さまには、次回のお席を幹事一同、心から願っております。

最後に、美味しいお料理とお酒、そして素敵な場所とサービスを提供していただいたベルマーレの方々に感謝申し上げます。

2度目のSC06同窓会開催！

SC06 東海林周平

理学部化学科2003年卒の東海林周平です。SC06同窓会を開催しましたのでご報告させていただきます。2010年の開催に引き続き、2回目の開催でした。

2014年6月14日(土)に表参道の「Thanks Nature」にて、総勢26名が4年ぶりに集まり楽しいひと時を過ごすことができました。全員が1分間スピーチをするというシステムで、近況などを報告し合い、大変盛り上がりました。2次会にもほぼ全員が参加し、二日酔いになった方も多かったのではないのでしょうか。

SC06は現在34歳前後の年代です。化学科らしく研究者となった方、家庭を持ったり仕事に励んだり、それぞれが人生を歩んでいる様子を聞き、お互いの成長を嬉しく、また励みになったと思います。今回の同窓会で

は、話が尽きず大変盛り上がりました。

「定期的にみんなで集まりたい」という声が多かったので、4年に1度は同窓会を企画し、親交を深めていきたいと思います。

同窓会事務局にご協力いただきまして、多くの仲間に出会うことができました。このような有意義な同窓会を開催させていただき、本当にありがとうございました。



集会援助手続

理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)
① 会員管理システム利用申請書
② 集会援助金申請書
- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出 (事務局へ持参、又は郵送)
- (4) 集会開催 ※
- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出
(事務局へ持参、または郵送)
- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください! (任意)

【理学部同窓会・事務局】

事務局の連絡先
〒252-0373 相模原市南区北里 1-15-1
TEL/FAX 042-778-9032
E-mail rigaku-d@nifty.com
ホームページ
<http://homepage1.nifty.com/kusaa/>

本会理事会での承認

申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供

②、③を確認後、集会援助金を助成
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

集会の
2ヶ月以上前

集会の後
2ヶ月以内

※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会



学校法人北里研究所関連企業

北里メディカルサービス株式会社

業 務 内 容

医療周辺業務のトータルサポート

医療のコアの業務をまわりからトータルでサポートし病院経営の合理化をお手伝いします。

○医事業務 ○施設管理業務 ○病院内コンビニ業務 ○病院内レストラン業務などの請負・人材派遣

理化学機器、試験研究用薬品の販売

研究者の皆様の各種成果創出に貢献する事を目指します。

本 社:〒108-0073 東京都港区三田四丁目1番4号 クアトロ三田ビル 3階

URL <http://www.kitasato.org/> 電話 03-5765-2101(代表) fax 03-5765-2107

事業所:白金事業部 電話 03-5791-6182 北本事業部 電話 048-593-4620

販売促進事業部 電話 03-5765-2105

活躍する同窓生

バナナの研究でイグ・ノーベル賞を受賞して(前編) ～サイエンスのおもしろさ～

SP1 酒井 利奈

サイエンスのおもしろさは、それ自体の幸福感、研究している者自身への働きかけのようなものではないか。何のために研究するのかを突き詰めていくと、それは『楽しいから』。それを理解してくれるのがイグ・ノーベル賞だ。バナナの皮の摩擦係数を測定し、滑りやすいことを証明した馬淵清資教授（医療衛生学部）、田中健誠さん（医療系研究科博士課程）、内島大地さん（同研究科修士課程修了、現在PMDA所属）、酒井利奈（医療衛生学部）の4名が2014年イグ・ノーベル物理学賞を受賞した。イグ・ノーベル賞はノーベル賞のパロディー的位置付けで、人を笑わせそして考えさせ、科学への関心を高める貢献をした人に贈られる。授賞式で馬淵教授はバナナや関節の模型を掲げ、研究内容を歌いながらパフォーマンスした。ふざけた賞のふざけた研究と思われるかもしれないが、実のところ大真面目に取り組んだ成果である。医学と工学の融合領域で40年間、真摯に「滑りやすさ」を追究してきた馬淵教授がバナナの皮の摩擦係数を測定するに至った経緯と受賞前後の裏話を、理学部同窓会の皆様だけに紹介する。

「イグ・ノーベル賞授賞候補者になっているが、受賞を受けますか？」このメールは本来、授賞式の半年前に馬淵教授が受け取るはずのものであった。ところが教授のメーラーの設定には工夫があるため、この重要なメールがスパムとして処理され、教授が目を通すことなくゴミ箱へ入った。イグ・ノーベル賞授賞式の1ヵ月前に再び、同様の問い合わせがあった。なぜかこのメールは受信されたところが、馬淵教授らしいところである。というのは、この様な理屈にあわないことが教授の身の回りではよく起こるからである。授賞式直前に案内状を受け取り、混乱しながら教授が慌てて航空券の手配を行い、授賞式の準備をバタバタと始めたのを記憶している。受賞式はたった1分のプレゼンテーションだから気楽にやればいい、そんな気持ちは教授には微塵もなかった。いちいち大真面目なのである。

イグ・ノーベル賞授賞式は2014年9月18日、ハーバード

大学の歴史あるホール、サンダーズシアターで行われた。

司会「バナナの皮が滑りやすいことを証明したキヨシ・マブチ、どうぞ！」

教授「ヘイ！エビバディ！ワッツ イズ ディス？」
観衆「バナナ！」

教授「ディス イズ ア ば～あな～あな～あり」

右手にバナナ、左手に関節の模型を持った馬淵教授の歌声が響いた。自作の詠をメロディにのせ、バナナの皮と関節のなめらかさの共通点をパフォーマンスした。メロディは大ヒットコメディ映画「天使にラブソングを」の主題歌「I Will Follow him」。映画で主人公は堅苦しい聖歌隊員に歌の楽しさを伝え、笑いで厳格さを打ち破っていく。これは馬淵教授の研究室での姿と重なる。教授は研究に対して堅苦しいイメージを持ってやってくる学生に、楽しさを伝え、そのイメージを打ち破る。バナナの皮に続いて、脳動脈瘤の研究と言いつつしながら、学生と水風船を膨らませて遊んでいることは内緒だ。

馬淵教授のパフォーマンスが反響を呼び、大学にメディアの方々が殺到した。取材の記者さんから「バナナの皮が滑る研究結果は何の役に立ちますか」という質問をよく受けた。これに対して「人工関節のよりよい滑りを目指す過程で理論の構築に役立つ」という回答をしてきた。優れた人工関節の開発を待ち望んでおられる足の不自由な方の思いに答えられるよう、まだまだ努力を続ける必要がある。一方で「科学は必ずしも実用性を問わない。研究テーマがおもしろければ価値がある。」という意見も頂戴した。これは日頃から教授が仰っていることでもある。アンドロメダ銀河が239万光年のかなたにあるという発見をすることに実用性は今のところないが、科学としての価値は高い。バナナの皮がこのような高尚な話に仲間入りできるとは思えないが、おもしろさという点では共通の部分がありそうだ。おもしろいという言葉には、「興味深い」という意味と「愉快である」という意味がある。イグ・ノーベル賞の理念はこの共通概念を表現しているように思える。



北里大学名誉教授 宮本 健 先生 追悼文

分子構築学講座 弓削 秀隆

去る平成26年3月19日、北里大学名誉教授宮本健先生が急逝されました。ご退任から5年、あまりに早い訃報に今でも信じられない思いです。追悼文を、とのことですが、くだらない文章を書いたりすると、また突然電話がかかってきて、お小言をひとくさりいただくことになるのでは、という錯覚を覚えつつ、在りし日の先生を思い、駄文を連ねさせていただきます。

小職は学生として9年間、北里大学に奉職してから、職員として14年間、宮本先生の比較的近くで過ごさせていただきました。初めてお目にかかったのは昭和61(1986)年、東大理学部化学科に進学した時、初日に先生方との面談があり、教授、助教授居並ぶ中、特に容貌魁偉な方がいらっしゃると感じたことが非常に印象に残っております。講義を受けたのはその半年後、先生の講義は東大の他の先生方とは少々違い、問題演習を途中に取り入れ、学生が自分で勉強する、理解度ははかりながら前に進めるという点で斬新に感じました。相手を見ながら進める、かといって迎合せず引張っていくという講義スタイルは北里に移ってから終始変わらないものでした。翌年、私は先生が助教授として在籍されていた無機合成化学講座で卒業研究を行いました。当時、先生はお忙しい時間をぬって、学生よりも実験をされて、多くの化合物を合成されておられました。この辺が「化学とは実体を伴った現実そのもの」「ほんの少しの化合物を調べて一般化するのは大間違い。多数の化合物を調べればデータが自ずと語ってくれる」という先生の信念を言行一致で示されておられたように思います。

その後、宮本先生は平成6(1994)年4月、衛生学部からの改組で理学部が設置されると同時に本学に着任されました。小職はその翌年にご縁あって本学に呼んでいただいたため、この初年度のことは先生からの伝聞でしか存じ上げないのですが、用意された部屋もなく、全くのゼロからのスタートだったとたびたび伺いました。3年目までは、教授室は現在のA2号館、研究室はA1号館と分かれ、行き来を繰り返されておりました。教授室は

部屋数不足から物理学科の矢崎先生とシェアされ、研究室の方はA1号館6階の窓その他の建付けが悪く、かなり隙間風の吹き込む部屋でした。3年目に5階の衛生学部生物化学研究室に移り、ようやく名実ともに講座の立ち上げとなりましたが、また5年目、S号館竣工とともに現在の部屋に移りました。この数年の間は公私ともに転居を繰り返されていましたが、それを苦にされている様子は見受けられませんでした。この辺りは戦後の動乱期に育ち、大学でも新規立ち上げの研究室で教育を受け、就職してからも学生紛争期を戦ってこられた、まさに激動期を乗り越えてこられたのだと感じ入る次第です。S号館に移って以降も研究室の模様替えは年中行事、講義、実習内容の見直しも頻繁で、現状に安住しない姿勢は一貫しておられました。

ただし、返す返すも残念だったのは、平成14(2002)年5月、心筋梗塞のため半年間の入院加療生活を送られたことです。これを機に、思うように動かない体と理想の間で、時にもどかしい思いを持たれていたように感じました。先生と間近に接しさせていただいた年月は、高い理想を掲げて努力することを求められ、厳しい叱責を受けることの連続でした。理想が高ければ高いほど思うに任せない現実は耐え難いものだったかも知れません。それでも我々後進をバツサリと切り捨てることはせず、人間としての懐の深さを感じさせるところは真似したくても、真似できないお人柄でした。

今回の訃報に先立つ一昨年秋も、結核で1ヶ月の入院から復帰された直後と伺っていたので、まさかとの思いもありました。思い返すと様々な思い出が数限りなく去来いたします。只々、今は先生のご遺志を受け継ぎ、後進の教育、研究に尽力して参りたいと思いを新たにしているところです。

こんなにも早く先生の追悼文をしたためなければならなくなり、同窓会の皆様方はじめ関係各方面へのお知らせが遅くなりましたことを陳謝するとともに、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



2003年3月 宮本先生
HP作成用に研究室で撮影したものの



2006年5月 宮本先生ガラス細工
実習でガラス細工の指導をされている風景

理学部事務室より

● Kitasato100×50 プロジェクト

2012（平成24）年、北里大学が創立50周年を、2014（平成26）年には北里研究所が創立100周年を迎えました。学校法人北里研究所は、これを契機に創立記念事業「Kitasato100×50 プロジェクト“未来科学の創造～Pioneer the Next～”」をスタート。様々な記念行事を行っています。詳細は100×50サイトをご覧ください。理学部同窓会の皆様のご参加をお待ちしております。



【記念事業ホームページ】

<http://www.kitasato.ac.jp/100x50/>

【特設Webサイト】

<http://kitasato-respectlife.com/>

● 大学院分野名称が変わります

平成27年4月より、大学院での分野の名称が変わります。
＜生物科学専攻＞

発生工学 → 幹細胞学
生体防御学 → 免疫学

● 平成27年度オープンキャンパス・進学相談会開催情報（予定）

- I. 第1回オープンキャンパス：平成27年8月1日（土）、2日（日）
- II. 第2回オープンキャンパス：平成27年8月23日（日）
- III. 第3回進学相談会：平成27年10月4日（日）
- IV. 第2回進学相談会・北里祭：平成27年11月7日（土）、8日（日）

11月7日（土）、8日（日）は進学相談会と北里祭が同時開催されます。相模原キャンパスは、大学新病院が竣工（平成25年12月21日）しましたので、環境が大きく変わりました。ますます進化していく母校を是非お訪ねください。

なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っています。詳細は北里大学ホームページ（<http://www.kitasato-u.ac.jp/>）をご覧ください。

● 平成27年度より理学部入試検定料が変わりました

・物理学科 センター利用 ＜中期＞

センター利用入試（前期）の志願者がセンター利用入試（中期）に出願する場合、センター利用入試（中期）の検定料は、17,000円のところ13,000円の出願できます。

ただし、学科を問わず、同時出願する場合、または追加出願の際に入学志願票にセンター利用入試（前期）の受験番号を記入した場合に限ります。

・全学科 センター利用 ＜後期＞

センター利用入試（前期）または（中期）の志願者が、センター利用入試（後期）に出願する場合、センター利用入試（後期）の入学検定料は、1学科17,000円のところ次のとおり割引します。

1学科に出願 17,000円 → 13,000円
2学科に出願 17,000円×2 34,000円 → 30,000円
3学科に出願 17,000円×3 51,000円 → 47,000円

ただし、学科を問わず、出願時に入学志願票の所定欄にセンター利用入試（前期）または（中期）の受験番号を記入した場合に限ります。

● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。

詳細は下記（学生係）までお問い合わせください。



● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援により、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

お問い合わせ先

理学部入試に関すること

TEL 042 (778) 9172（入試係直通）
FAX 042 (778) 9953

就職に関すること

TEL 042 (778) 8545（学生係直通）
FAX 042 (778) 9953

大学院入試に関すること（理学研究科入試係直通）

TEL 042 (778) 9083
FAX 042 (778) 9953

平成28年度 理学部入学試験日程 (予定)

平成28年度（平成27年度実施）入学試験日程は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

公募制推薦	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 10名		
	試験日	平成27年11月14日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成27年11月2日(月)～平成27年11月9日(月)		
	合格発表日時	平成27年11月20日(金) 13時		
指定校推薦	募集人員	生物科学科 5名		
	試験日	平成27年11月14日(土)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成27年11月2日(月)～平成27年11月9日(月)		
	合格発表日時	平成27年11月20日(金) 13時		
一 般	募集人員	物理学科 23名 化学科 55名 生物科学科 35名		
	試験日	平成28年2月3日(水)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・仙台会場
	受付期間	平成27年12月17日(木)～平成28年1月25日(月)		
	合格発表日時	平成28年2月12日(金) 13時		
センター試験利用(前期)	募集人員	物理学科 10名 化学科 10名 生物科学科 15名		
	試験日	平成28年1月16日(土)・17日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成27年12月17日(木)～平成28年1月15日(金)		
	合格発表日時	平成28年2月12日(金) 13時		
センター試験利用(中期)	募集人員	物理学科 10名		
	試験日	平成28年1月16日(土)・17日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成27年12月17日(木)～平成28年2月5日(金)		
	合格発表日時	平成28年2月24日(水) 13時		
センター試験利用(後期)	募集人員	物理学科 3名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成28年3月2日(水)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成28年2月15日(月)～平成28年2月24日(水)		
	合格発表日時	平成28年3月9日(水) 13時		

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「進路・就職」から入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745・9747
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

【会報への寄稿について】

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞
記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

お詫び

毎年恒例記事として「近況報告バトンタッチ」を掲載しておりましたが、今回は都合により掲載することができませんでした。楽しみにされていた方々には大変申し訳なく、ここでお詫び申し上げます。このようなことが無いように今後は努めて参りますので、ご了承いただけますようよろしくお願い申し上げます。

編集後記

北里大学理学部同窓会会報第18号をお届けいたします。原稿を執筆頂いた皆さまには、深くお礼申し上げます。

相模原では大学病院の新棟開設が2014年から始まり昔のキャンパスからは想像出来ない程の変貌を遂げています。

2012年に北里大学は創立50周年、2014年に北里研究所が創立100年、相模原市は市制60周年となり旧津久井郡と合併後政令指定都市になり、将来リニア新幹線が通ります。

2014年度は、青色LEDの功績により日本人3人にノーベル物理学賞が贈られ、スポーツ界ではプロテニスの錦織圭選手とフィギアスケートの羽生結弦選手が活躍しました。夏には、東京代々木公園を中心に69年ぶりにデング熱が流行しましたが、グローバルには、西アフリカでのエボラ出血熱が深刻な問題になりました。また、10月27日には、長野県の御嶽山で突然の火山噴火が起こり50数名の犠牲者を出し戦後最大の火山災害となりました。さらに今秋は171年ぶりのミラクルムーンで、年に2回の十三夜を鑑賞する事が出来ました。

歴史は常に動いていて、自然の力に抗する事は難しいですが、人類の発展に寄与されている同窓会会員の皆様の今後の弥栄を願って挨拶とさせていただきます。

(化学科 F.R.)

北里大学理学部同窓会報

発行 平成27年3月 日
発行者 北里大学理学部同窓会
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032
E-mail : rigaku-d@nifty.com
責任者 沼上清彦



北里大学オリジナル

草熟北里八雲牛の加工食品

北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場で生産している、牧場の草のみで育った健康で安全なヘルシー牛肉です



95g/1缶

コンビーフ 3缶入
1500円 税込



200g

ビーフシチュー
648円 税込



210g

ビーフカレー
440円 税込



160g

ハンバーグ
400円 税込

北里大学オリジナルビスケット

洋菓子コロンバン製のオリジナルビスケット。
御自宅用・ご贈答用にぜひご利用ください。



ハルミジャーノレジャーノ、フランボワーズ、カフェアマンド、フィユブラリネ、パニーユ、ショコラアマンド (缶入)

19個入 **¥1,000** 税込

数々の北里オリジナルグッズをプロデュース、販売しています。



北里八雲牛、オリジナルグッズの詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

北里ライフサービス

営業時間：月～金 8:30～18:00 土曜日 8:30～14:00

※第2・第4土曜日、日曜・祝日は休業

相模原キャンパス内L2号館東側 TEL 042-778-7891 FAX 042-777-6380

URL: <http://kitasato-life.co.jp>